

今年もやります！！ものづくりコンテストに挑戦！➡機械科



全国選抜高校生溶接技術競技会（炭酸ガスアーク溶接作業）課題指導の様子

機械科は今年も各種のものづくりコンテストに挑戦しています。課題に取り組みながら、必要な知識と、技能を身に付けるために、島根県職業能力開発協会さんと連携し、高度熟練技能者（＝技能マイスターとして国から認定を受けた指導者）にお越しいただいています。「ものづくり」は奥が深く、様々な考え方や方法があります。その中でマイスターさんに直接学ぶことが出来ます。この機会は重要な意味を持ちます。今年も旋盤作業や溶接作業等でご指導いただきます。技能とは人が持つ能力のことで、人から人に対して直接伝えられなければ、体得することが出来ないのだそうです。その意味は実際に現場に立って体感すると、とてもよく分かります。

昨年度、アーク溶接作業部門で全国5位に入賞した本学科の生徒のお陰で、今年は第9回全国選抜高校生溶接技術競技会 in 新居浜という全国大会に招待していただきました。生徒は休日返上の練習で大変なのですが、機械科の卒業生会から大会参加のための材料費等の助成をいただき、氣勢が上がっているところです。周囲の方々に支えられ、更なる高みにチャレンジを続けます。

機械科では基礎知識をしっかりと学習し、更には、中国、全国レベルを意識したものづくりを目指しています。ただ、それが、勝ち負けに視点がとどまらない様に配慮をして指導をしています。